ぺんぎん2月号

毎日寒さにも負けず「上着いらない」と自分で脱ぎだすぐらいに、身体がポカポカになるまで元気良く遊んでいます。１月はお正月ならではの遊び、福笑いや羽根つき、凧揚げなども楽しみました。かめの友だちと一緒に散歩に行ったり、幼児さんと一緒に隣の公園で遊んだり、異年齢でもたくさん過ごすことができたように思います。氷を作ったり、降ってくる雪を掴もうとしてみたり…冬の自然にも触れて遊ぶことができました。

羽根つき狙ってねらって！

凧あがらないなあ…

見てみてこんな顔～

コマ回ったよ！

カルタもしたよ

お兄ちゃんはすごいなぁ～と憧れたり、小さいお友だちには優しく関わったりする姿も…

冷たい～雪っておいしい？

氷になってる！

親子ふれあい会のご参加ありがとうございました

ふしぎなこおり

１月、とっても強い寒波が到来しましたね。
全く積もらない尼崎市でも少しだけ雪が残ったりするほど寒かった日。
園庭に水を溜めたおもちゃを数日前から置いておいたのですが見事カチコチに凍っていました。
不思議な現象に子ども達は大興奮！喜んで氷を触っていました。

☆触っている時の子どもの呟き☆
「つめた～」
「かたい」
「(ずっと触っていると)いたい！」
「われた！」
「(尖っているところを見て)危ないなこれ」
「ぱくっ(食べる振り)」

「寒いから氷ができたんだよ」と伝えると
不思議そうな顔の子ども達。
まだちょっと難しかったかな…？

たくさん触って冷たくなった手を洗いに行こう！と階段を上っている時、Ｓくんが「こおりって、プニプニじゃないねんな…。」と言ってました。
触るまではプニプニしていると思っていたけど、実際に触ってみると冷たいし、固いし、でびっくりしたんだとか！
言葉で教えてあげることも大事ですが、自分で経験して学んでいくことも大事ですね。

ふしぎなこおり その2

さて、その日の夕方です。
次の日も寒波が続くということで再び氷遊びができるチャンス到来！！
今回は子ども達自身が氷遊びの準備をしてみました。
入れ物を一つ選んで、自分で水道水を入れています。

水を入れた容器をじっと見つめる子がいたので「どうしたの？」と尋ねると
「こおりできてない…」と言ってました(笑)
水を入れてすぐにできるわけじゃないことを伝えるとちょっと残念そうでした。

そして次の日…

こおり できてるー!!

※わかりにくいですが、タッパーの氷を見て興奮しています。

つめたいなぁ～

むこうがみえる…！

つるつるすべる～♪おもしろ～い！

氷が出来る仕組みはまだ理解できませんが、「寒いと凍る」ということは経験を通して子ども達の学びになりました。またひとつ世界の面白さに気付きましたね。
自然を通した学びはタイミングが難しいことも多いので、チャンスを逃さず、子どもと一緒に様々な経験をしていきたいですね。
今年はたまたま強い寒波が来てくれたおかげで冬を楽しむ遊びが出来ました。この日の夕方には雪もたくさん降り、“冬”という季節を子ども達も存分に感じられたのではないかと思っています。

2月　かめ

2023 年が始まりましたね！冬休みが終わり、子どもたちの元気な声が保育園に広がりました。季節外れの暖かい日もあれば、雪の降る寒い日もありましたね。まだまだ寒い日が続きますが、今月も心と体を動かしながら楽しく過ごしていきたいと思います。

凧には自分で
模様を描いたよ！

～お正月あそび～
クルクル凧を作って凧あげをしました！
他にもコマ回しや福笑い、羽子板も楽しみましたよ☆

しっぽとり

隣の公園で一緒においかけっこをしたり、しっぽをつけて走ったりしています。“友だちと一緒って楽しい！嬉しい！”の思いを感じてもらえるように、今後も継続して取り入れていきたいと思っています。

外に水を置いていたら
氷ができたので触ってみたよ！
つめた～い！！

むっくり
くまさん

0 歳児もじっくり好きな遊びを楽しむ姿や、1 歳児のあそびをまねっこしてみようとする姿が見られるようになってきました。

ふれあい会へのご参加ありがとうございました。短い時間ではありましたが、交流する機会をもてたこと嬉しく思っています。

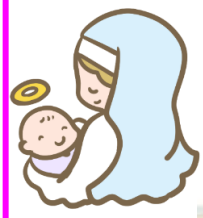
交流の一環で幼児さんが保育室に遊びにきてくれています。お兄さん、お姉さんに遊んでもらってとても嬉しそうでした☆

年上の真似っこ

最近、朝や夕方に幼児さんがお部屋に遊びに来てくれることがあります。ある日の朝、遊びに来ていたＲちゃんが**わっか**の玩具を取りにいきました。そこへ登園してきたHちゃんは、「Ｈも！」と同じ**わっか**に手を伸ばしましたが、一足遅くＲちゃんが**わっか**を使い始めてしまいすぐに使いたいＨちゃんは泣きだしてしまいました。
Ｈちゃんをなだめながら様子を見守っていると、Ｈちゃんはふと泣き止みＲちゃんの元へ向かいました。
何やらＲちゃんがおもしろい事をしていると感じたようで、隣で同じように真似をし始めました。

わっか

Ｒちゃんは５歳児の女の子です。クリスマス会の劇のマリア様になりきり、**わっか**とシフォン布をマリア様の被り物にして歌い始め、Ｈちゃんはそれを見て同じようにしたくなり、シフォン布を頭につけようとしています。



マリア様役になりきるＲちゃんと、その横で真似をし始めたＨちゃん。

シフォン布を付けるのは難しかったようで、結局**わっか**だけを頭にのせ満足して、Ｒちゃんが歌いはじめると、
Ｈちゃんも一緒に「あ～あ～♪」と歌っていました。

普段友だちと同じ物が使いたくて泣くことも多いＨちゃん。
それでもちょっとしたきっかけで(今回はＲちゃんの遊びを見て)「楽しそう」「真似したい」という気持ちになったようです。自分より年上の友だちの真似が出来たことは面白く、
満足できたことでしょう♪
同じ年齢だけでなく異年齢での関わりも大切にしていきたいと改めて感じました！

わたしはちいさなおかあさん

かめぐみの部屋も子どもたちの遊びの姿によって、より遊びが広がるよう定期的に模様替えやのおもちゃを取り換えるようにしています。
ここ最近のＲちゃんのままごとあそびや世話あそびをする姿が変わってきました。

お世話あそび

以前は、人形を抱っこしていただけで満足していたのですが、赤ちゃんのお世話で忙しそうです。

ままごとあそび

子どもは真似っこが大好きです。
Ｒちゃんの「あそび」は自分が体験したことや、周りがしていることを真似して「あそび」に取り入れています。
子どもたちが私たちの姿を見て「同じようにやってみたいな！」と興味を持ち、「あそび」のなかに取り入れていったり、良い意味で真似される大人でありたいと感じたＲちゃんの姿でした。

２０２２年度ヴィジブル　かめ